

神学校献金の取り組み

ふじみキリスト教会の場合

ふじみキリスト教会牧師 犬塚 契

ふじみキリスト教会では、毎年、秋に神学校を覚える時を持ち、東京バプテスト神学校から来てくださった神学生が宣教をしてくださっています。第一礼拝は朝7時、第二礼拝は11時と2回のメッセージを「可能ならば…」とお願いしていますが、みなさん快く引き受けてくださいます。そんなおかげで牧師は一日楽ができ、毎年の神学校週間が待ち遠しいのです。礼拝後、献金箱をもって教会玄関に並びますが、代わっていた感謝がありますので、実に心軽

やかです。ここ数年、週報に「次週は、神学生の宣教になります」と予定を書こうとも、もう若い学生を思い浮かべる人たちは、いなくなりました。それでも、説教壇に立てば、よいオトシの神学生たちが必死に聖書と格闘した姿が宣教を通して伝わり、礼拝者は自らの信仰生活の省みとし、また神学校への祈りへと導かれるようです。(コロナ以前は)朝礼拝が早いことから、教会施設に前泊していただき、壮年会主催で「神学生を囲んでの証しと

食事会」をしていました。夜に聞くとおきの証しは、いつも心をうち、良い交わりの時間を感謝しました。その後、就任の案内やバプテスト誌で赴任先を知り、これからの働きを覚え続けることができるのは、よい恵みです。

「誰が立つことができようか」という愕然とした畏れを抱えつつの神学校での学びと奉仕であろうことに深く共感しています。主の憐みと教会の祈りが、立ち得ない者を立たせるのだと思っています。後援会の働きを覚えます。



東京バプテスト神学校 後援会

No.33

NEWS

Homepage <http://tbts.jp> Mail seminary@tbts.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141
発行日：2022年7月28日 発行者：東京バプテスト神学校後援会 秋山 信夫

巻頭言

東京バプテスト神学校 事務局長

(泉バプテスト教会協力牧師)

村上 千代



後援会の皆さま、いつも神学校のために祈り、支えてくださりありがとうございます。

神学校では、今年度もコロナで教会音楽科以外はすべてオンライン授業になりましたが、前期は、在學生22名、公開講座聴生(後援会受講)49名、教会共同受講11名(5教会)がライブやビデオで学んでいます。どんな状況の中でも、熱心に学んでいる受講者の姿に励まされます。

さて、ここ数年神学校で課題となっ

ていることは、在學生の減少です。公開講座等で多くの受講者と与えられて嬉しく感謝する一方で、入学者の減少と共に2019年度から在學生が年々減少していることは残念です。信徒伝道者養成の課題は、これからの教会にとってより重要になってくると理解しておりますので、在學生の減少は、教会にとっても残念なことではないかと思えます。後援会の皆さまには、この課題をおぼえて祈っていただくと共に、財政的な厳しさを抱える神学校を今後ともご支援

くださるよう切にお願いいたします。

この度、新しい支援の仕方としてクレジット決済による支援を開始しました。これまでの一口5,000円の郵便振替による送金方法は継続しつつ、一口500円からできる「後援会月々支援」の方法を下記にご紹介しています。神学校ホームページから、あるいはQRコードから簡単にできますので、ぜひご検討ください。よろしく申し上げます。

2021年度 神学校献金・後援会献金(個人)実績

140名・170件 合計1,269,000円

阿部義孝 芦沼光雄 伊藤真知子 井上昭子 井上政博 壺岐基子 越智満 塩山宗満 奥谷恭子 奥田光子 奥田厚子 奥田稔 岡田成實 岡田富美子 岡澤幸一 加山礼子(2) 加藤郁雄(2) 角田秀明 角田芳子 関根孝枝 丸山勉 岩崎秀子 岩瀬ミチ 岩瀬礼 鬼澤寛 菊地正弘 吉原正子(3) 吉田壽宏 久保公平 金元たづ子 熊澤コト 古家克務 古家良子 古根村聖子 古川敬康 古川博子 戸井田敦子 五十嵐桂子 後藤ますみ 向井浩子 高橋良子(2) 高柳美枝子 鴻野清美(3) 佐藤幸子 斎藤美津栄(2) 坂川里味(2) 鮫島泰子 三木睦美 山形昌美 山口宜由紀(2) 山崎清美 山川許子(2) 山内敏明 山本弘夫 山崎美奈 四津明美 持山優子 若林一枝 秋山信夫・純子 十時節子(3) 勝俣昌也(2) 小出久美 小勝琢生(2) 小松澤一枝 小柳隆司 松村栄子(2) 松田健太郎(2) 松田俊介 松田朝子(2) 上原一晃 常廣澄子(2) 森山ひろみ 神山武 瀬戸口早苗 星田恒 清水伸晴 西方泉 青山祐一 青木節子 石垣恵子 石垣茂夫(2) 石橋香緒里 石原誠 石水美佐子 川勝宏宏(2) 川平朝清(2) 染森哲朗 相澤賀代子 村松理恵子 村上真由美 村上千代 大下仁 大場征子 大矢公子 竹内正幸 竹澤明 中根浄 中澤なつみ 仲山和恵 丁野雅子 長塚幸子 鳥飼好男 辻真理子 坪井通泰 鶴ヶ谷芳昭(3) 鶴野博子 田村俊彦 田村真由美 田中由記子 渡部富夫 都丸利子 土屋小夜子 東方敬信 藤田尚子 内田泰亮 内藤淳一郎 埜中梨枝 白田洋子 飯野實 富田直美(2) 武章子 福本綾子(2) 文廷翼(2) 平井純子 豊永義典 北野弘子 木元和子 木原道雄(3) 木村一充・まどか 木村晋治 柳澤芳信 友納薫 立田卓也 林玲子 鈴木幸子 蓮香隆夫 櫻井朋美 澁谷和美(2) 濱崎信郎 匿名

2021年度 教会・集会献金実績

93件 合計2,936,501円

東京バプテスト神学校の働きを支援するために、あなたも「後援会」にご入会ください

1. 定期支援

個人会員：年額1口 ¥5,000
何口でも歓迎いたします

2. 自由献金支援

支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座 **00210-8-75658**

東京バプテスト神学校後援会

※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。

500円からご支援できます!

後援会の会費が月々500円からご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。
スマホやタブレットからもお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。



◀ 今すぐアクセス! <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)

つながり続ける者として

澤田 ルツ子

(千葉バプテスト教会音楽主事)



私が教会音楽科を卒業し、千葉バプテスト教会の音楽主事に就任してから今年で早くも4年目になります。現在はマスク越しの日常会話程度の声量での賛美や、聖歌隊活動も少しずつ再開していますが、就任して間もない当初は、コロナ危機に直面し、発声を伴う賛美や様々な活動を制限することとなりました。「聖歌隊の働きや会衆賛美を整え、宣教やあらゆる教会活動を支え、礼拝がさらに豊かになるように」と、大張り切り切りしていた音楽主事の働きを取り上げられたかのようでした。全国各地の諸教会も似たような状況だったことと思います。会堂に参集する形式での礼拝と同時に、オンライン配信を行う、手探りの教会活動がスタートしました。

そのようなコロナ禍で最初のクリスマス礼拝のことです。教会員の中学生の子に、「聖歌隊の伴奏をやってみないか」と春の頃から楽譜を手渡していました。コロナの状況によっては賛美ができるかどうか分からないけれど、ピアノの練習をしておいてもらうようお願いしてあったのです。しかし聖歌隊全員での賛美の可否を決断する時期に差し掛かってからまだ安心はできない状況だったので、「私の独唱の伴奏をお願いできるか」妥協策を彼女に提案しました。すると彼女は「これは聖歌隊のための曲だから聖歌隊が賛美しないとダメ」と言うのです。その旨、聖歌隊のメンバーに相談したところ、「Cちゃんがそんなにやる気を出してくれているなら、私たちも、なんとか工夫して賛美して

ようか!」と大人たちの士気が上がりました。マスクの素材はどれが良いか、フェイスシールドが必要か、隊員同士や会衆との距離はどのくらい空けるかなど、みんなで知恵を出し合い、クリスマス礼拝で久しぶりに聖歌隊での賛美を捧げることが出来ました。かくして、コロナ危機で賛美が制限される状況下であって、新たな奏楽者が誕生したのです。赤ちゃんの時から見守ってきた子が成長し、ピアノを弾く賜物を捧げられている姿に、感涙しました。

コロナ危機の中で諦めたり我慢したりする活動が多い中、しかし、それでも出来ることを探して祈り求め、少しずつでも活動していく。そのような中で、神様は私たちに、思いも寄らない恵みを沢山くださいます。幼かった彼女の信仰が育ち、奏楽者として備えてくださった神様のご計画に大いに励ましを受けました。

今私がこのようにして音楽主事としての働きが与えられていることも、神学

校を卒業できたことも、そもそも入学したことさえも、あるいはそれ以前に教会につながり信仰が与えられたことも…自分のこれまでを振り返り遡ると、そこにはいつも神様のお導きとご計画があったことを思われます。そして信仰と音楽が結びつく学びの中で出会った友人や先生たちは、今でも祈り励まし合う大切な存在です。神様が用意してくださる出会いの恵みにはいつも驚きをもって感謝しています。

神学校を卒業しても、学びは終わりません。コロナ危機の中で益々顕著でしたが、「動画配信はどうやるのか」「オンライン配信の際の賛美歌の著作権はどうなるのか」など、尽きることのない新たな課題に日々直面します。その都度聖書のみ言葉に励ましを受け、上からの知恵を賜るように、しかし御心が叶いますようにと祈りながら、「学び続ける」者として、これからも人と教会と神に仕え、神様の恵みにつながりたいと思います。



2022.4.17 イースター礼拝での聖歌隊賛美

中澤 なつみ

(洋光台キリスト教会)

2013年より5年間、本科生として学ばせていただきました。入学してすぐに教会管理(鳥山美恵先生)を学びました。当時のレポートを読むと、苦しんでいる自分を感じます。全15回の授業は私自身が神さまや教会と格闘する日々でした。しかし、学びを通して、「事務スタッフとして教会に関わってみたい。」という思いが起こされました。その後の授業でも事務スタッフとしてどう考えるか?どう支えるか?という視点で、学ぶようになりました。

最後の1年間、「専任の事務スタッフがいる教会で研修がしたい」という思いが与えられました。本科にはそのような制度はありませんでしたが、先生方は応援して送り出してくださいました。そして今、洋光台キリスト教会で事務スタッフとして働いています。

コロナショック以降、教会は多くの面で変わること余儀なくされました。事務の働きも変わりました。状況についていくのがやっとの日々に流されそうになりますが、鳥山先生の「バプテストは考える群れです。立ち止まり「私は何者か?」「我々は何者か?」を問い続けることを大切にしています。」の言葉に今も励まされ、立ち止まり模索しつつ教会の働きに加わっています。

歴史を刻む神学校

木原 道雄

(相模中央キリスト教会)

私の神学校との係わりは、かなり以前、連合選出の理事を拝命したこと、聴講生としてギリシャ語や説教など何講座を受講したこと、そして最近、壮年連合の神学校献金推進委員を担ったもののコロナの環境下で、なんの働きもなく終わった悔いが残っている。

60年といえば、社会的には2世代、3世代に亘って多くの信徒に神学の学び、励ましの場を提供してきた訳だ。そして多くの果実をみせさせてきた。牧師、音楽指導者、教会主事など福音伝道への献身の方々である。決して北関東、東京、神奈川の主宰3連合だけでなく全国で活動されている。講座内容も充実し、何処でも受講可能な機能が備えられている。

しかるに最近神学校入学希望者が減り、連盟の財政難から神学校助成金も近く停止されるとのこと、あたらしい世代に向かって厳しい船出である。

偶々見た昨年度の東京バプテスト神学校献金の記録では、3連合95教会のうち献金されたのは59教会、その他の連合、他派教会は合わせて10教会にとどまっている。この割合をより高めるべく、3連合のなかは勿論、その他の連合、教会に一層強くはたらきかける余地があると感じた。目標設定も有効かと思う。一方で、裾野を広くするために、青年、学生など若年層の参加をうながす受講料等の減額、割引は有りうるか、将来の後援会メンバーへの拡大も願って。

喜びと感謝に満ちあふれる神学校

鳥飼 好男

(市川八幡キリスト教会)

奨学金委員をさせて頂いているときに、度々「神学校」を訪ねる機会がありました。その際には、多くの神学生に会えるのが楽しみでした。皆さんが元気活刺で、とっても明るく、希望に満ちた笑顔の方々ばかりだったのです。各教会から祈りによって送り出された神学生同士が、いつも豊かなみ言葉の交わり・恵みの時を過ごしているのですから、当然のことと思っています。

さて、「東京バプテスト神学校」は伝道者養成機関として、「教会を担う信徒の研修・教育訓練機会の提供」と「専任伝道者の養成」に貴重な働きを担っています。しかしこの60年の歩みの中には、いつも「課題」が山積しています。それらは、受講生の募集・カリキュラムと教員の構成・財政的課題が主たることでしょう。共に、復活の主の豊かなお導きを祈ってまいりましょう。

連盟の「神学生奨学金会計」(原資は「神学校献金」)から、専攻科の神学生への奨学金支給(貸与ではなく、一定条件付きで年間授業料の8割相当)がなされていることに感謝したいと思います。

これからも、「西南学院神学部」、「東京バプテスト神学校」、「九州バプテスト神学校」および「宣教研究所」が緊密な連携を保ちつつ、伝道者養成が重層的に充実していくことを期待し、後援会の一員として「祈りと支援」を継続したいと思っています。